

春の褒章 受章おめでとぅございませう 中原行男さん(国見町)に藍綬褒章

中原さんは保護司として26年もの間、裁判所で保護観察処分を受けた人や刑務所から仮出所を認められた人たちと、1か月に2度ほど面談し、社会復帰をサポートしてあげられます。保護司としての活動について「これまで、13人ほどの対象者と接してきましたが、常に心がけていたことは、友達や親子のような感覚で心を通わせながら、根気強く付き合っていくこと。更生して、定職に就き、



中原行男さん(75)

お土産を持って遊びに来てくれると本当にうれしい」と話されています。本来なら定年ということですが、「まだ担当している方がいるので、少なくともあと3年は頑張るつもりです」と、今後も尽力されていくということ。中原さんは、枕崎市議3期のほか市農業委員会会長など公職を数多く歴任されるなど、社会に多大な貢献をされています。

白熱の取組に大声援！ 第17回黒潮すもう大会

第17回黒潮すもう大会が6月3日、駒場公園相撲場で行われ、市内各小学校から4年生以上の代表90人の児童が団体戦や個人戦に出場しました。子どもたちは相撲教室で学んだ礼儀作法で堂々と土俵に登場し、熱戦を展開。特に今回は、自分より大きな相手に堂々と取り組む対戦が多く見られ、子どもたちの一生懸命な姿に、会場いっぱい詰めかけた市民や保護者から、惜しみない声援が送られています。

結果は次のとおりです。

- 【団体戦】**
 5年生の部 1位：枕崎小A、2位：桜山小A、3位：立神小A
 6年生の部 1位：立神小A、2位：枕崎小A、3位：桜山小A
【個人戦】
 4年生の部 1位：徳重孝平(枕崎小) 2位：竹山聖矢(桜山小) 3位：谷上京平(桜山小)
 5年生の部 1位：安田峻(枕崎小) 2位：前田周哉(枕崎小) 3位：山室悠輔(枕崎小)
 6年生の部 1位：盛田勝義(枕崎小) 2位：木口屋滉研(桜山小) 3位：園田裕隆(立神小)



6年の部1位 盛田勝義君(左) 5年の部1位 安田峻君(右) 4年の部1位 徳重孝平君(右)

投稿のコーナー

投稿めいがつごさいませう

一日中「かつおラーメン」でにぎわう 第3回関西鹿兒島ファンデー

◎投稿者 豊田久男さん(近畿枕崎学生会長)



関西鹿兒島県人会総連合会(会長 稲盛和夫)主催、第3回関西鹿兒島ファンデーが6月4日、大阪南港インテックスラウンジにて開催されました。原田悠里さんをメインゲストに鹿兒島出身の歌手、故郷の踊り等の芸能部門、鹿兒島県下から出店の物産品即売と、会場は一日中、鹿兒島がそ

のまほ移動してきたかのような雰囲気。その中でも枕崎市から出店の、枕崎はまらん会、枕崎市かつお公社、マルミツ水産、松野下蒲鉾、薩摩酒造、坊津のママム・ポールの6つの団体・企業はそれぞれ特徴ある商品を販売されました。枕崎市の元気ある一面を発揮でき、PRには最高の機会であったと確信します。「鹿兒島に帰ったらラーメン食へに行く」「かつおを買ってよかつた」「枕崎だけが儲かった」と、会場のあちこちで聞こえてきました。特にかつおラーメンは長蛇の列、待ち時間30分は他に並んだ所が無かっただけに圧巻でした。ただ、一日だけではもったいないと出店者の声も多くあったのも否めません。

他の市や町では、行政、商工会議所業者、県人会が一体となった取り組みが多く見られました。次回は大阪ドームでの開催を予定、出店小間も増える予定です。元気な枕崎をPRするチャンス、他の企業も多くの出店をお願いします。心るさこの活性は遠くへ広がることを願っています。

ごみゼロの地域に 立神小学校「530運動」

◎投稿者 立神小学校教頭

立神小学校は5月30日、「530(ごみゼロ)運動」として「ニール袋片手に、校区内を児童・教職員が一掃

になって清掃しました。昨までは学年別に分けての清掃活動でしたが、今年度は、全校児童304人を上級生と下級生が一掃になったスマイルグループ(全児童を16のグループに編成した縦割りの異年齢集団)で行い、道路沿いや空き地に落ちていた紙くず、空き缶、ビニール袋などを拾って回りました。上級生が下級生の世話をする姿も見られ、子どもたちが主体的に活動に参加していました。集めたごみは学校内で燃やせるごみ、燃やせないごみ、資源ごみに分別しました。児童一人ひとりが、地域の清掃活動を通して、郷土愛と勤労の精神を養うことができたいと思います。なお、今年度から、年2回、11月30日に、1130(いいさと)運動として実施します。



早く収穫できたらいいの になあ〜桜山小で芋植え体験

◎投稿者 桜山小PTA



桜山小学校の1年生が、総合的な学習の時間を利用して、山下集落にある学習農園で芋植えの体験をしました。宝寿庵に在住の前田守夫さんに指導を受けながら、約4アールある学習農園のうち約1アールの畑に「カネセンカン」を植えました。児童の藤田もとひろ君は「きれいに植えてうれしかった」。道野はるかさんは「早く芽が出ないかなあと思いました」という感想がありました。今後は、芋の発育を観察しながら草取りを行い、収穫した芋は、焼き芋にして食べたり、11月の自由参観の時に高齢者といっしょに芋を使った料理の材料にする予定です。